

教育

平成 22 年度 重点事項

■問い合わせ 管理課 教育委員会 ☎ 476-1111 (402)

平成 22 年度が始まるにあたり、教育委員会では、次のことを重点的に進めていきます。

1 本町学力検査の結果

「基礎・基本の定着」と学んだことを生かす授業の充実を図っています

平成 21 年 4 月 21 日（火）に小学校 6 年生と中学校 3 年生を対象に実施された、『全国学力・学習状況調査』の結果を全体的に見ると、全国との差は 5 ポイント前後であり、大きな差はありません。このことから、大崎町の児童生徒の学力は、概ね全国並みといえます。

知識・技能の定着に関する問題（A問題）

ア 通過率の高い内容

- 【国語】…漢字の読み書き（小・中）小見出しをつける（小）語句の意味（中）
- 【算数・数学】…計算問題・図形問題（小・中）

イ 通過率の低い問題

- 【国語】…ローマ字や接続語の使い方（小）内容の読み取り（中）古文を現代語訳に直す（中）
- 【算数・数学】…百分率の計算（小）方程式や確率の計算（中）

知識・技能を活用する問題（B問題）

ア 通過率の高い問題

- 【国語】…書かれている内容をとらえ、自分の考えを説明する（小・中）
- 【算数・数学】…グラフをもとに、数量の変化をとらえる（小）情報を分類・整理する（中）

イ 通過率の低い問題

- 【国語】…自分の立場を明確にして意見を書く（小）簡単にまとめて書く（中）
- 【算数・数学】…結果からさまりを見いだす（小）三角形の合同を証明する（中）

これらの結果から、平成 22 年度は、授業の充実を図るために、次のようなことを各学校で取り組んでいきます。

- 基礎・基本の定着を図ります。
 - ・ 授業の中で、児童生徒の定着を図るために、授業の後半で確認をします。
 - ・ ワークシートの活用やプリントを活用して習熟や発展的な学習の場の設定を図ります。
 - ・ 児童生徒に、じっくりと試行錯誤させたり、考えさせたりする場を設定します。
 - ・ 家庭学習の充実を図ります。
- 自分が考えたことを生かす場を設定します。
 - ・ 自分の考えをノートに記録させたり、発表させたりして、考えを高め合うようにします。

2 学習状況調査の結果

家庭との連携を図り、児童生徒の家庭学習の充実を図ります

全国より高い傾向を示したもの

- ・ 朝食の摂取状況、家の手伝い、テレビ視聴やゲームの時間（小・中）
- ・ 物事をやり遂げてうれしかったこと、挑戦すること、自分のよいところの把握（小）
- ・ 地域行事への参加（中）

全国より低い傾向を示したもの

- ・ 家庭における学習時間、テストの事後の見直し（小・中）
- ・ 将来の夢や目標（中）

これらの結果をもとに、平成 22 年度は家庭との連携を通して、次のようなことに取り組みます。

- 家庭学習の充実として次のようなことに取り組みます。
 - ・ 家庭学習の手引きをもとに、予習や復習の仕方について、共通理解を図り、全員が取り組めるようにします。
 - ・ テストの事後の対応について、一人ひとりに応じた指導の充実を図ります。
 - ・ 家庭と協力して、テレビやゲームの時間の減少に努めます。
 - ・ 家庭学習 60・90 運動の推進に努めます。
- 児童生徒が夢や目標を持てるような取組を推進します。
 - ・ 様々な体験活動を通して、成就感や充実感が味わえるようにします。
 - ・ 特別活動や道徳の授業の充実を図ります。
 - ・ 児童生徒の生活の場である大崎町についての学習を充実させます。

このような取組を通して、大崎町の児童生徒が規範意識を養い、豊かな心と健やかな体を育てていくとともに、一人ひとりの能力を伸ばし、社会で自立する力を育てていくことができるように取り組んで参りたいと思いますので、よろしくお願ひします。